



S740受信ユニットを設置した宮崎県民
共済生活協同組合様

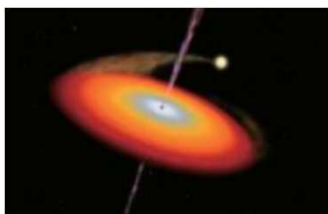
明星電気のQCAST®シリーズは、「宮崎県民共済生活協同組合」様でお役に立っています！

明星電気は、宮崎県民共済生活協同組合様より、QCAST®受信ユニットS740を採用して頂き、西日本電信電話株式会社 宮崎支店を通じて納入しました。

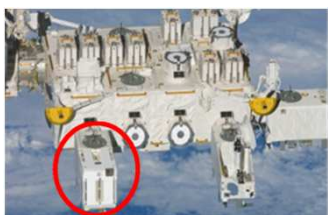
今回採用された受信ユニットは本社事務所3階に設置している放送設備を経由し、本社事務所全体に放送されるシステムとなっております。来所されたお客様や職員が事前に地震の到達を知る事によって、落ち着いた行動を取る事が可能となり、身の安全の確保、火気の始末などが期待できる製品です。

わが国ではいつでもどこで大きな揺れがくるかわかりません。明星電気のQCAST®シリーズは、県民の生活の安定と向上を図ろうと明るく頑張っている職員がいる職場で、少しでも安心な情報を提供できる機器として活躍しています。

(当社担当:九州支店 宮田浩一)



巨大ブラックホールに星が吸い込まれる瞬間(提供:JAXA)



「きぼう」船外実験プラットフォームに設置されているMAXI(提供:JAXA)

「MAXI」世界初の観測成功！

国際宇宙ステーション日本の実験棟「きぼう」の船外実験プラットフォームに搭載され観測を続けている全天X線監視装置(MAXI: Monitor of All-sky X-ray Image)が、米国のガンマ線バースト観測衛星(Swift: スウィフト)との連携により、地球から39億光年離れた銀河の中心にある巨大ブラックホールに星が吸い込まれる瞬間を世界で初めて観測しました。

「MAXI」は、明星電気が開発・製造を担当したもので「宇宙天文台」とも呼ばれています。

2009年7月に「きぼう」の船外実験プラットフォームに取り付けられ、同年8月以降、全天の天体からのX線を常時観測してきました。

なお、この成果は、8月25日の各社新聞等にも掲載されています。

詳しくは、JAXA様のHPをご覧ください。

http://www.jaxa.jp/press/2011/08/20110825_maxi_j.html

ここでも明星電気の宇宙観測装置が、天体科学のために役立てられています。

(当社営業担当:官公ソリューション営業部 小林 忍)

明星電気の活動を紹介します。



QCAST®受信装置のイメージ

参議院様で防災訓練を実施

9月1日の「防災の日」に、東京都永田町の参議院様において防災訓練が行われました。

訓練では当社製の緊急地震速報QCAST®受信装置を作動させ、関連施設へ緊急地震速報が放送されました。

明星電気製のQCAST®シリーズは、2008年より参議院様で運用され、日本の政治の中枢である国会の防災対策を担っております。

(当社営業担当:官公ソリューション営業部 古賀健一郎)

FROM UNDERWATER TO OUTERSPACE

明星電気は先端技術を活かし、~人と社会の豊かな環境づくりに貢献する~を
テーマに水中から宇宙までをカバーする世界のトータルソリューションプロバイダーを目指します。